

県立友部高校 学校長：大越 福枝

【実施日時】	平成20年11月14日(金) 10:45~12:35
【参加者と人数】	1年1組 35名
【コーディネーター】	村尾 光子
【講師】	オレリアン・バロン(フランス) プリタ・ケツォルト(ドイツ) アーロン・メナ(コスタリカ) オラシオ(ウルグアイ)
【活動内容】	フランス・ドイツ・コスタリカ・ウルグアイの4グループから2つを選んで、日本との違いや各国の文化・習慣についての話を聞いた。(1グループ 35分程度) 最後に、全体でクイズ形式でまとめの交流会をした
【参加者の感想】	とても勉強になってよかったです。他の国の文化の違いに驚きました。お互いの文化を比べることは良いことだと実感しました。いい体験になりました。 学校の制度などが違ってビックリしました。ウルグアイのマテ茶はすごく苦いことにも驚きました。とても勉強になりました。 日本と比べると違うところが多くて、カルチャーショックでした。今日学んだ国や、違う国についても、もっと知りたいと思いました。 すごく楽しかった。外国に行きたくなりました。他国の言葉を勉強したいと思いました。
【担当者の感想】	生徒たちがいつもの授業の顔とは違う顔で参加していました。とても積極的に講師の方の話に耳を傾け、日本語につまずいた講師の方に助け船を出すなど、交流を盛り上げている場面もありました。他国との違いを知ること、自分たちについて知ることができ、自分たちとは違うものを受け入れることを学んだようです。いい経験になりました。